

●がん患者・家族への相談支援事業

資料2-2

■がん患者サロン運営者会議

- 目的・経緯
- ・拠点病院では平成21年度から「がん患者サロン」を開始し、現在では、がん診療連携拠点病院
 - ・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院の計9病院と、県の3保健所において実施。
 - ・27年度に実施したピアソポーター意見交換会で、「サロン運営の責任の所在を明確にすること」と「ピアソポーターと連携したサロン運営を」という意見が出された。
 - ・「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」では、「医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援」を行うことが明記されており、28年度から拠点病院では、がん患者サロンの運営責任者を明確にし、定期的にピアソポーターと運営者会議を開き、効果的なサロン運営に取り組んでいるところ。
 - ・28年度から、サロン運営者の情報共有及び情報交換を目的に当会議を実施。
 - ・新たに地域がん診療病院となった南奈良総合医療センターと、支援病院も対象とした。

- 対象者
- ・がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院のがん患者サロン担当者（計9病院）
 - ・3保健所がん患者サロン担当者

●内 容

日時・場所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成29年5月23日（火） 14:00～16:00 天理よろづ相談所病院 がん相談支援センター前会議室	●がん患者サロンの運営についての報告・情報交換 ●第3期奈良県がん対策推進計画に向けての情報交換 ●天理よろづ相談所病院がん相談支援センター等見学	・対象の全9病院 14人 ・3保健所 4人 計 18人

- 概要
- ・平成28年度から実施している運営会議の結果、がん患者の意見が担当者だけでなくサロン責任者にも直接つながり、「院内の協力が得やすくなった」「サロンの周知が徹底してきた」「備品確保等しやすくなった」という報告があった。
 - ・ピアソポーターの旅費及びボランティア保険について検討（今年度は県拠点病院が先行実施予定）
 - ・当会議を拠点病院の会議室で開催することで、終了後、施設見学ができ、施設内の工夫等を学ぶ機会となった。

